

7. 地区協議会報告

○クラブ奉仕B 深谷 政男君

出席するのが楽しいクラブになるよう努力するようにと言われました。

○ロータリー財団 宇恵 弘純君

1人平均 200ドルを目標にしましょう。
又ポールハリスフェローになって下さい。

○国際奉仕 土井 元司君

青少年交換では東南アジアと交流を推進
しましょう。又金より人の奉仕を心がけま
しょう。

○米山奨学会 柳川和一郎君

資料をもとに説明し協力を要請した。

超 我 の 奉 仕

1989年の規定審議会におきまして「超我の奉仕」を国際ロータリーの第一標語とすることに決定いたしました。（手続要覧 165頁）今一度この標語の意味を考えてみる必要があると思います。

「超我の奉仕」とは決して滅私奉公ではありません。クラブの中での切磋琢磨する金剛石の役目のように超我とは我を更に高く生かすことあります。つまり共存共栄こそがロータリーの心であるのです。自分と他人とを両極に対立させ自我だけを押し通すことは早晚自分も破滅に導くこととなるだけなのです。我の執着を捨て去ることです。そして自分というものは他人によって生命を与えられ、更に他人により今日まで生かされておる事実を自覚することです。自己認識ということは他を認識してはじめて自己を知ることが出来るのです。ロ

ータリーは対立ではなく統合なのです。超我とは自と他とは裏表一体なものであることを悟った時、理解されるのではないでしょうか。このように単に利己的な要求を排除して、人間の大道である「ともに生きるために」の奉仕こそが、真の奉仕といえるのではないかでしょうか。

「超我の奉仕」はくめどもつきぬ永遠の命の泉であります。「超我の奉仕」こそがロータリーにとってもロータリアンにとっても永遠のテーマであります。

ニコニコ・米山・BOX

林 孝次郎君 免許証落しましたが無事かえ
りました

田中 丈士君 "

三木 寛昭君 ゴルフ95でまわりました

橋本 憲紹君 サウジアラビア・ハンガリー
・アルゼンチンの青年と交流
しました

柳川和一郎君 卓話をします

角谷 勝司君 江東RCの方に夕食をごちそ
うになりました

岩井 克次君 遅刻すみません

深谷 政男君 会社のゴルフコンペに数名の
会員の参加ありがとう

桑添 剛君 クロシオ会コンペ優勝した

谷口 誠也君 桑添さんおめでとう

新垣 勝君 深谷、山名両君にお世話にな
りました

塙本 義信君 地区協議会の報告よろしく

花畠 重靖君 弟子が写真で日本一になりました

山東 剛一君 幹事1ヶ月つとめました